

NPO 法人日本リハビリテーション看護学会誌投稿規程

1 投稿者の資格

本誌への投稿者（共著者を含む）は、NPO 法人日本リハビリテーション看護学会会員に限る。ただし、編集委員会から依頼された原稿についてはこの限りではない。

2 原稿の種類と内容

- 1) 本誌の領域は、リハビリテーション看護およびその関連領域とする。原稿の内容は他誌に掲載されていないか、あるいは掲載予定（投稿中のものも含む）がないものに限る。本誌に掲載された原稿の著作権は、本学会に帰属する。
- 2) 原稿の種類と内容は、次のとおりとする。著者は、原稿にその何れかを明記する。場合により、原稿の種類の変更を求めることがある。
 - I. 総説: 研究・調査論文の総括および解説
 - II. 原著: 独創的な研究論文および科学的な観察
 - III. 研究報告: 独創的な研究の短報または手法の改良・提起に関する論文
 - IV. 活動報告: リハビリテーション看護活動に関する実践報告
 - V. 資料: リハビリテーション看護上有用な資料
 - VI. その他: リハビリテーション看護に関する提言、海外事情、関連学術集会の報告など

3 倫理的配慮の記載

特定の個人の情報を研究に用いる場合には、人権の擁護やプライバシーの保護に留意し、研究対象者に研究内容や手順を適切に説明した上で、研究結果の公表について本人の同意を得ること。また、倫理的配慮がなされた旨を原稿中に明記すること。

4 投稿手続き

原稿は封筒の表に「日本リハビリテーション看護学会誌原稿」と朱書し、下記に簡易書留で郵送する。

〒187-0041

東京都小平市美園町1丁目6番1号 グリーンプラザマンション307

NPO 法人 日本リハビリテーション看護学会事務局

TEL/042(346)7226 FAX/042(313)2050 E-mail : jrna@nifty.com

5 原稿の提出部数

原稿は4部(保管用1部[著者名を記載したもの]、査読用3部[著者名を記載していないもの])提出すること。なお、採用決定後に、原稿ファイルも提出する(使用機種・ソフト名を明記のこと)。

6 原稿の受付と採否

- 1) 原稿は随時受け付けるが、4月末で締め切り、審査を行う。
- 2) 原稿の到着日を受付日とする。(受付日と到着順に付す受付番号を、投稿者に通知する)。尚、受理した原稿は原則として返却しない。
- 3) 原稿の採否は、編集委員会への一任とする。
- 4) 採用を決定した時には、編集委員会から著者に通知する。
- 5) 査読の結果が「不採用」の場合で、その「不採用」の理由に対して投稿者が明らかに不当と考えた場合には、不当とする理由を明記して編集委員長宛てに異議申し立てをすることができる。

7 原稿執筆の要領

- 1) 原稿は、和文または英文とし、原則としてパソコン（ワープロ）で作成する。
- 2) 書式および原稿の字数
 - (1) A4判横書きで、1頁1行の文字数を40文字、行数を30行とする。英文の場合は、ダブルスペースでタイプする。

- (2) 字数は、原則として和文の場合は 12、000 字以内とする。英文の場合は 10、000 語以内とする。いずれも刷り上がり 10 ページ以内とする。この中には、図表および資料を含む。超過するものは、原則として受理しないものとする。

なお、図表の目安は下記の通りである。

刷り上がり 1 ページ: 1、600 文字相当 刷り上がり 1/2 ページ: 800 文字相当
刷り上がり 1/4 ページ: 400 文字相当 刷り上がり 1/6 ページ: 260 文字相当

- (3) 文章は新仮名づかいを用い、句読点、カッコ（「、（、〔 などは 1 字分）とする。外国語は、原則として原綴りで書く。
- (4) 文体は、平易な口語体を用い、常用漢字を用いることを原則とする。人名、地名などは、原則として原語を用いる。
- (5) 章節のはじめは、なるべく、Ⅰ、Ⅱ、…；1、2、…；1)、2)、…；(1)、(2) …；①、②、…の順とする。文中および図表中の数字はアラビア数字かローマ数字（すなわち 1、2、3、…Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、…）を用いる。
- 3) ワープロ原稿作成上の注意
- (1) 特殊な書体や文字の大きさの指定が必要な場合は、ハードコピー上（印刷したもの）に明記する。
- (2) 文章は 1 段組みで打ち、段落ごとに文頭を 1 文字空ける。
- (3) 改行の場合は、必ず文末に（強制）改行マークを打つ。
- (4) 表や脚注は別の文書にするか、文末にまとめて打ち、文中には組まない。
- (5) 数字や英文は半角文字を使用し、単位記号は原則として英文半角文字の組み合わせで打つ。特殊文字や記号等は使用しない。
- (6) 肩付きや下付きの文字や数字（ X^2 、 H_2O など）を使用した場合は、ハードコピー上に明記する。
- 4) 原稿の構成と表記方法: 執筆に際しては、以下の項目を記載すること
- (1) 題目（英文タイトルも併せて表記すること）
- (2) 著者名（ローマ字でも記入）
- (3) 所属機関名、連絡先
- (4) 抄録（和文 400 字程度。原著の場合は 250 語程度の英文サマリーも付すこと）
英文サマリーは、native speaker の校閲を受ける。
- (5) キーワード（日本語、英語とも 5 語以内とする）
- (6) 本文（表記は 10～11 ポイント明朝体）
- (7) 文献
- 5) 図表および資料の扱い: 図表および資料等は下記の通りに作成する。
- (1) 図表・写真は、図 1・表 1・写真 1 のように表し、希望する右欄外に、それぞれ挿入希望位置を朱書する。
- (2) 図表および資料については、原則としてそのまま印刷に用いられるものとする。したがって、明瞭に記載する。図表および写真は、本文とは別に一括し、一枚ずつ別の用紙に記載または貼付する。本文中印刷・製版に不相当と認められる図表は、書換えまたは割愛を求めることがある。
- 6) 文献の表記
- (1) 文中での引用文献の記述は、括弧内に筆頭著者名、発行年を記す。同じ筆頭著者名でかつ同じ発行年の文献が複数ある場合は、文中に掲載されている順に、アルファベットの小文字を発行年数の後に付記する。（文末の文献記載においても同様）
- (2) 文末の文献記載は、著者名をアルファベット順に記す。記載方法は下記の例示のようにする。

【雑誌掲載論文】

著者名（発行年）：論文題名、雑誌名、巻（号）、ページの順に記述する。

例1) ○元○子、○木○生(2009): 脳血管障害患者の転倒パターンの分析、日本○○看護学術誌、36(1)、34-41.

例2) Wilkinson, S. (2004). *Factors which influence how nurses communicate with cancer patients*. J. Adv. Nurs. 16,677-688.

【単行本】

著者名(発行年): 書名(版数), 発行社, 発行地.の順に記述する。

例) ○本○茂(2000): 認知行動療法の理論と実際(第2版), 医学書院, 東京.

【分担執筆】

著者名(発行年): 分担執筆部分の表題, 編集者名、書名(版数)、発行社、発行地、分担部分のページの順に記述する。

例) ○木○子(2003): チーム医療と看護、○井○正編著、リハビリテーション看護(第1版)、金原出版、東京、502 - 503.

【翻訳書】

原著者名(原書の発行年次)/訳者名(翻訳の発行年次):翻訳書の書名(版数)、発行社名、発行地の順に記述する。

例)Nightingale, F.(1850)/湯楨ます監訳(1988):看護覚え書(第4版). 現代社、東京.

(3) 文末の文献の著者名は、3名までは全員を記載し、4名以上の場合は最初の3名を記載し、以下「他」(日本語文献の場合)、「et al.」(外国語文献の場合)とする。

7) 原稿には表紙をつける。オリジナル原稿の表紙には、表題、著者名、所属機関名(以上は和英文で記載)、代表著者の連絡先、表および図の数、希望する原稿の種類、別刷必要部数を明記する。コピー原稿の表紙には表題、希望する原稿の種類のみを明記する。本文には著者名は記載しない。

8) 著者校正

著者校正は原則として1校とする。校正の際の加筆は、原則として認めない。

8 執筆者が負担すべき費用

1) 掲載料は所定の頁数までは無料とし、それを超える分は著者の負担とする。また、特別な図版、写真等の印刷費用についても著者の負担とする(実費)。

2) 別刷にかかる印刷費用は、すべて著者の負担とする(実費)。

附 則

この規定は、平成21年10月17日から施行する。